明石	五工業高等 日工業高等	等專門学校	開講年度 令和04年度 (2	2022年度)	受業科目	英語Ⅲ	
科目基	礎情報						
科目番号	1	4308		科目区分	一般 / 必	· 修	
受業形態	Ŕ	講義		単位の種別と単位数			
開設学科	1	都市シス		対象学年	3		
開設期		通年		週時間数	2		
教科書/勃	教材	TOEIC	ransfer course D トランスファー英語: L&R Test KINSEIDO,『データベース4 次より継続)	総合問題演習 4th edition 1500』萩野治雄(2年次	on 桐原書店』 なり継続),	/後期:Basic Understanding of th 『NextStage』 4th Edition 瓜生豊	
旦当教員	Į	平川 裕					
ができる 日常生活 社会性 <i>(</i>	英語でコミュ う。 活や自分の身 のある話題 [†]	9近なことに	ンを図ろうとする態度や異文化を理解していて、ある程度の的確さ、流暢さ、Eに関する基本的な情報や考えについて、	即応性をもって内容を聴	瀬、読解、ん	云達できる。	
<u>レーブ</u>	リック		T	I.—		T	
			理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの		未到達レベルの目安	
評価項目1			相手と英語でコミュニケーション を図ろうとする態度や異文化を理 解しようとする姿勢を身に付け、 実際の場面での英語の使用に応用 して役立てることができる。		P異文化を理 と身に付け、	相手と英語でコミュニケーションを図ろうとする態度や異文化を理解したうとする姿勢を身に付け、 実際の場面での英語の使用に役立てることができない。	
平価項目	12		日常生活や自分の身近なことについて、的確さ、流暢さ、即応性をもって内容を聴解、読解、伝達できる。	日常生活や自分の身近いて、ある程度の的で、即応性をもって内容解、伝達できる。	置さ、流暢さ	日常生活や自分の身近なことについて、ある程度の的確さ、流暢さ、即応性をもって内容を聴解、詩解、伝達できない。	
評価項目3			社会性のある話題や自分の専門に 関する基本的な情報や考えについ て、内容の聴解、読解、伝達に加 え、意見交換ができる。	社会性のある話題や自分の専門に 関する基本的な情報や考えについて、内容の聴解、読解、伝達に加え、簡単な意見交換ができる。		社会性のある話題や自分の専門に 関する基本的な情報や考えについ て、内容の聴解、読解、伝達に加 え、簡単な意見交換ができない。	
学科の	到達目標	項目との関	月係				
教育方:	 法等						
		リスニン		個別スキルのレベルア、	 yプに加え、	TOEICで高得点が狙えるよう英語ナ	
既要		の向上を	自指す。				
受業の進	め方・方法		習得を確認する小テストの後、教科書を			った内容について復習をする。	
主意点)予習、復習をして授業に臨むこと。課 対象としない欠席条件(割合):1/4以_		<u>L</u> .		
は業の	屋供 屋	•	·	上の人味			
		<u>修上の区分</u> -> が					
」アク	ティブラー	_ンク	☑ ICT 利用	☑ 遠隔授業対応		□ 実務経験のある教員による授	
受業計							
又未可	<u> </u>	週	授業内容	调ブ	との到達目標	5	
			授業概要説明		授業内容や課題について理解する。		
		1週	transfer D 英語総合問題演習	授業	内谷や課題に	_つい (埋解する。	
		2週	Unit 1	を習	レッスンの課題として設定されている語彙・文法などを習得する。		
		3週	Unit 2		レッスンの課題として設定されている語彙・文法な を習得する。		
	1stQ	4週	Unit 3	レツ	レッスンの課題として設定されている語彙・文法なと を習得する。		
					レッスンの課題として設定されている語彙・文法などを習得する。		
		5週	Unit 4			として設定されている語彙・文法など	
		5週	Unit 4 Unit 5	を習 レッ	得する。	として設定されている語彙・文法など として設定されている語彙・文法など	
				を習 レッ を習	得する。 スンの課題と 得する。	して設定されている語彙・文法なる	
		6週	Unit 5	を習 レツ を習 これ これ	得する。 スンの課題と 得する。 までの学習内 までの学習で	として設定されている語彙・文法など 日容を復習する。 「理解したことをきちんと成果として	
前期		6週	Unit 5 中間のまとめ	を習 レッ を習 これ これ 表現	得する。 スンの課題と 得する。 までの学習内	として設定されている語彙・文法など 日容を復習する。 「理解したことをきちんと成果としてきる。	
前期		6週 7週 8週	Unit 5 中間のまとめ 中間試験実施	を習 レッ を習 これ これ 表現 弱点	得する。 スンの課題と 得する。 までの学習で までの学習で することがで の克服を目指 スンの課題と	として設定されている語彙・文法など 1容を復習する。 1理解したことをきちんと成果としてきる。	
前期		6週 7週 8週 9週	Unit 5 中間のまとめ 中間試験実施 中間試験返却	を習 レッを習 これ これ表現 弱点 レッ習	得する。 スンの課題と 得する。 までの学習で までの学習で することを目指 スクの課題と スンの課題と スンの課題と	として設定されている語彙・文法など でを復習する。 で理解したことをきちんと成果としてできる。 できる。 できる。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	
前期		6週 7週 8週 9週 10週 11週	Unit 5 中間のまとめ 中間試験実施 中間試験返却 Unit 6	を習 レッ習 これ これ表現 弱点 レッ習 レッ習	得する。 スンの課題と まする。 までの学習での学習での学とが まする。 表別でののでは、 でののでは、 でののでは、 でののでは、 でののでは、 でののでは、 でののでは、 でののでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでのでは、 でのでのでは、 でのでしで、 でのでして、 でのでして、 でのでしで、 でので、 でので、 でので、 でので、 でのでで、 でのでで、 でのでで、 でのでで、 でのでで、 でのでで、 でのでで、 でのでで、 でのでで、 でのでで、 でのでで、 でのでで、 でのでで、 でのでで、 でので、 でので、 でっで、 でので、 での	はして設定されている語彙・文法など 対容を復習する。 理解したことをきちんと成果として できる。 はす。 として設定されている語彙・文法など として設定されている語彙・文法など	
前期	2ndQ	6週 7週 8週 9週 10週	Unit 5 中間のまとめ 中間試験実施 中間試験返却 Unit 6 Unit 7	を習いできます。 を習います に で で で で で で で で で で で で で で で で で で	得する。 ス得する。 ス得すののる。 学さるでのののののでは、 でするでいるでいるのでは、 はいまするでは、 はいまなななななななななななななななななななななななななななななななななななな	はして設定されている語彙・文法などである。 は 理解したことをきちんと成果としてできる。 は す。 として設定されている語彙・文法などとして設定されている語彙・文法などとして設定されている語彙・文法などとして設定されている語彙・文法など	
前期	2ndQ	6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週	Unit 5 中間のまとめ 中間試験実施 中間試験返却 Unit 6 Unit 7 Unit 8	を習い習れている。 を習い習れている。 ここれでは、 ここれでは、 ここれでは、 ここれでは、 ここれでは、 ここれでは、 ここれでは、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 に	得する。 思される。 思される。 ますののこのののののののののののののののののののののののののののののののののの	として設定されている語彙・文法など 日容を復習する。 「理解したことをきちんと成果としてきる。	
前期	2ndQ	6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週	Unit 5 中間のまとめ 中間試験実施 中間試験返却 Unit 6 Unit 7 Unit 8 Unit 9	を習い習れた現 は い で で で で で で で で で で で で で で で で で で	得する。 ス得まますのスペース は、ででいるででいる。学といるのででいる。学といるのでののででいるのででいる。 でいるでいるのでは、でいるのでは、でいるのでは、でいるのでは、でいるのでは、でいるでは、でいでは、でい	はして設定されている語彙・文法などである。 は 理解したことをきちんと成果としてできる。 は す。 として設定されている語彙・文法などとして設定されている語彙・文法などとして設定されている語彙・文法などとして設定されている語彙・文法などとして設定されている語彙・文法など	
前期	2ndQ	6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週	Unit 5 中間のまとめ 中間試験実施 中間試験返却 Unit 6 Unit 7 Unit 8 Unit 9 Unit 10	を ツ	得する。 ス得まますの。 ますののこののこののののののののののののののののののののののののののののののの	ではでいる語彙・文法なるでを復習する。 で理解したことをきちんと成果としてきる。 はす。 として設定されている語彙・文法なるとして設定されている語彙・文法なるとして設定されている語彙・文法なるとして設定されている語彙・文法なるとして設定されている語彙・文法なるとして設定されている語彙・文法なるとして設定されている語彙・文法なるとして設定されている語彙・文法なるとして設定されている語彙・文法なるとので復習する。	

	3rdQ	1週	期末試験返却 授業概要説明 Basic Understanding of the TOEIC L&R Test	弱点の克服を目指す。 授業内容や課題について理解する。
		2週	Unit 1	レッスンの課題として設定されている語彙・文法など を習得する。
		3週	Unit 2	レッスンの課題として設定されている語彙・文法など を習得する。
		4週	Unit 3	レッスンの課題として設定されている語彙・文法など を習得する。
		5週	Unit 4	レッスンの課題として設定されている語彙・文法など を習得する。
		6週	Unit 5	レッスンの課題として設定されている語彙・文法など を習得する。
		7週	中間のまとめ	これまでの学習内容を復習する。
後期		8週	中間試験実施	これまでの学習で理解したことをきちんと成果として 表現することができる。
	4thQ	9週	中間試験返却	弱点の克服を目指す。
		10週	Unit 8	レッスンの課題として設定されている語彙・文法など を習得する。
		11週	Unit 9	レッスンの課題として設定されている語彙・文法など を習得する。
		12週	Unit 10	レッスンの課題として設定されている語彙・文法など を習得する。
		13週	Unit 11	レッスンの課題として設定されている語彙・文法など を習得する。
		14週	Unit 12	レッスンの課題として設定されている語彙・文法など を習得する。
		15週	後期総復習	後期の学習内容について復習する。
		16週	期末試験	これまでの学習で理解したことをきちんと成果として 表現することができる。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力		英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	2	前2,前3,前 4,前5,前 6,前7,前 9,前10,前 11,前12,前 13,前14,前 15
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	2	前1,前2,前 3,前4,前 5,前6,前 7,前9,前 10,前11,前 12,前13,前 14,前15
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた 新出語彙、及び専門教育に必要となる英語専門用語を習得して適 切な運用ができる。	2	前1,前2,前 3,前4,前 5,前6,前 7,前9,前 10,前11,前 12,前13,前 14,前15
	人文・社会 科学			中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	2	前1,前2,前 3,前4,前 5,前6,前 7,前9,前 10,前11,前 12,前13,前 14,前15
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	2	前1,前2
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	2	前1,前2
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	2	前3,前4
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報 を読み取ることができる。	2	前3,前4,前 8
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、 100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	2	前5,前6
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場 面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	2	前5,前6
				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略 (ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	2	前6,前7
分野横断的	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。	2	前12,前 13,後8
能力				他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で 正しい文章を記述できる。	2	前14,前 15,前16

			他者が話す日本語や	や特定の外国語の内容を打	巴握できる。	2	後1,後2,後 8	
		日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成ることができる。			解して会話を成立させ	2	後1,後2	
			円滑なコミュニケーションのために図表を用意できる。			2	後3,後4	
			円滑なコミュニケー づち、繰り返し、オ	-ションのための態度をで ボディーランゲージなど)	とることができる(相 。	2	後5,後6	
評価割合								
	試験		発表	相互評価	その他	合計		
総合評価割合	60		0	0	40	100		
基礎的能力	60		0	0	40	100		
専門的能力	0		0	0	0	0		
分野横断的能力	0		0	0	0	0		